

前回議事概要

会議の名称	第 1 回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議
開催日時	令和元年 6 月 2 8 日（金） 1 4 時 3 0 分から
開催場所	勝浦市役所 5 階 第一員会室
会議の議題	1. 平成 3 0 年度地方創生推進交付金事業の活動報告及び事業検証 2. 平成 3 0 年度地方創生事業活動報告及び事業検証 3. 次期総合戦略策定スケジュール等 4. その他
会議の概要	<p>出欠確認</p> <p>会長から、出席者 1 6 名であり、定足数に達していることから会議の成立について説明。</p> <p>新委員紹介及び会議趣旨説明</p> <p>資料 地方創生総合戦略策定推進会議名簿</p> <p>資料 勝浦市人口ビジョン（概要版） まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 2 7 年度 1 0 月策定）</p> <p>資料 5 勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議設置要綱</p> <p>資料 6 勝浦市まち・ひと・しごと総合戦略推進策定体制</p> <p>概要</p> <p>事務局から新委員の紹介。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、国、県が策定した戦略を基に、市における「人口減少と地域経済縮小の克服」、「まち・ひと・しごとの創生の好循環の確立」等を目指すため平成 2 7 年に計画策定した旨説明。また、平成 2 7 年度から令和 1 年度までの 5 年間の戦略期間であり、今年度時期総合戦略の策定年度であること、成果指標、PDCA サイクルによる施策展開を図る旨説明を行い、本会議の意見を反映し、成果指標に基づく事業検証をすることで、本戦略の推進を図ること、次期総合戦略を策定していくことを目的として設置されている旨説明。</p> <p>議題（1）平成 3 0 年度地方創生推進交付金事業の活動報告及び事業検証</p> <p>資料 1 かつうら観光ぷらっとフォーム事業／企業立地推進事業</p> <p>資料 3 評価基準</p>

資料４ 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各基本目標における
数値目標（抜粋）

概要

事務局から評価基準に基づき評価を行っていること、委員の評価については、疑義等がなければ事務局案を委員評価とする旨委員全員の了承があった後に、平成３０年度に実施した下記２事業の説明を行った。

①かつうら観光ぷらっとフォーム事業【評価結果Ｃ】

質疑要旨

- ・ 評価するにあたって評価理由を付してもらいたい。
- ・ 海水浴場の誘客策についてはメディアへの露出、情報発信の強化を図る具体策について。
→フェイスブック、インスタグラムの開設等のＳＮＳの活用、テレビ等のメディアに露出することが必要と分析している。
- ・ 夏季以外のシーズンのイベント等の企画で交流人口の拡大に繋がる考えは。
→大きなイベントがある月以外を埋め、底上げできる常設的なイベントを検討している。
- ・ 南房総をゾーンとした広域連携の取り組みについて。
→夷隅地域、鴨川市、南房総市を視野に連携を検討している。
- ・ 民間がダイビング事業を鵜原、行川で行っているが、ＰＲなど、市と協力できるものがないか。またダイビング利用者から、周辺のトイレ環境についても要望が出ている。
→海の魅力をインバウンドに活かしていきたいと考えている。その上でＰＲ方法やトイレ環境の整備を含めて検討していきたい。
- ・ 国際武道大学の学生は勝浦市の中でも、多くの割合を占めると思うが、市として協力して何かを行う考えはあるか。また、大学に求めている部分はあるか。

→スポーツツーリズムで協力していければと考えている。また、新たに武道ツーリズムという言葉も出来ているので、そういった部分で連携協力をお願いしたい。

②企業立地推進事業【評価結果B】

質疑要旨

- ・ 企業が進出することが難しいという理由として、地理的条件としているが、それを有利にする方法はないのか。

→道路というインフラは重要と認識している。千葉県内でも、企業誘致が進んだところは、圏央道の内側であり、外側では道路網が整備されていないことによって、企業の進出が進まないという現実からして、道路網というのは重要と認識している。

勝浦市内の道路整備としては、松野バイパスの2工区開通により、今後は第1工区と進んでいくという部分や、圏央道の横芝以降の開通も見越して、取り組みを行いたいと思っている。

議題（2）平成30年度地方創生事業活動報告及び事業検証

資料2 地方創生総合戦略事業 事業評価シート

資料4 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略
各基本目標における数値目標（抜粋）

①観光商工課分 質疑

- ・ 8ページ商店街の活性化について、「スタンプラリーを行い、機会を与えた」とあるが、数値的なもので何をもって機会を与えたと検証しているのか。

→公式で発表している数字はないが、イベント行うことで国際武道大学の学生や、若い世代の集客が図れたと認識している。

- ・ 行ったというだけでの点で判断するのではなく、商店街にアンケートを取るなどで今後は評価をしてもらいたい。

No.131 企業立地の促進 【評価結果B】

No.221 UIJ ターンの促進 【評価結果B】

No.222 田舎暮らしの魅力発信 【評価結果C】

No.223 若者定住の促進 【評価結果C】

No.132 中小企業の振興 【評価結果B】

No.133 商店街の活性化 【評価結果B】

No.134 起業者支援 【評価結果B】

No.135 就労支援 【評価結果B】

No.211 観光産業の充実と魅力の向上 【評価結果B】

No.212 イベント活動の充実と新たな観光資源の整備 【評価結果B】

②企画課分 質疑

- ・ No.422 公共交通の整備で、交通弱者の対策は是非お願いしたい。

総野地区などの山手側の年寄りが、近くで買い物に困らないような施設の計画は今後も検討してもらいたい。

→交通弱者の対策は、大学協力のもと聞き取り調査を行っている。そういった声を確認した上で、買い物支援も含めて交通体系の検討を行っていく。

- ・ 観光客も使える公共交通体系を検討してもらいたい。

- ・ 酒蔵巡りなどはインバウンドに有効かと思うので、これを観光協会と連携して、体験型観光に結びつけてもらえればと思う。

- ・ 住民主導型地域づくり支援については、自主財源の確保になるような支援方法など検討をしてもらい。

- ・ インバウンド対策については、日本人の目線で行われることが多く、外国人目線で行う必要があると感じているが、具体的な考えはもっているか。

→小学校では、留学生と交流をしているという実績もある。そういったことを市民まで裾野を広げ、インバウンドに必要部分の意見交換をできるように検討していきたい。

- ・ インバウンドを考えた場合、国際武道大学に来る選手（短期）は年間300から400人いる。彼らの練習スケジュールの空いた時間を活用して、交流や市内を案内することで、世界に勝浦市の情報を発信するといったやり方があるのではないか。

No.314 子どもを産み、育てる支援（出産から高校を卒業するまで）
【評価結果B】

No.221 広域連携の促進 【評価結果B】

- No.414 国際化の推進 【評価結果B】
- No.422 公共交通の整備 【評価結果C】
- No.113 地（知）の拠点大学による地方創生の推進 【評価結果C】
- No.213 漁村・農村観光の促進 【評価結果B】
- No.411 住民主導型地域づくり支援 【評価結果A】
- No.421 地域交流・地域振興施設の整備 【評価結果E】

③生涯学習課・芸術文化交流センター分

④学校教育課分

⑤都市建設課分

⑥農林水産課分

⑦市民課分

⑧福祉課分 質疑

・ No.311 婚活の支援について、水産業に係るものは独身者が多くいるので、こういった支援が行われているのをもっと広く知らせる必要があるのではないか

・ No.314 の目標事項である子どもによるまちづくり提案事業でこういった提案があったかお聞かせ願いたい。

→豊浜小学校からの提案は、校庭の一部が公園になっており、その整備を3年かけて行うというもの。

・ No.312 子どもを産み、育てる支援（妊娠から就学前まで）の多子世帯の経済的負担の軽減の5世帯に対して助成したということだが、分母がわからないと評価がしにくいので分母の確認をしたい。

→保留事項として次回回答したい。

・ No.414 国際化の推進で、留学生との交流については、他の小学校に拡大するよう検討してみてはどうか。

→検討を進める。

・ No.224 住環境の整備については、担当課評価Bは地元の不動産屋に啓蒙活動を行ったうえでの結果なのか。ホームページは、情報発信しているが、見に来てもらわなければ情報が伝わらない。周知が足りないのではないか。

→意見を担当課と協議する。意見を踏まえて評価をお願いする。

- ・ No.121 農林水産物の高付加価値化とブランド化について、水産物は有名だが、農産物は弱いと感じている。他の地域では、地域商社が設立され、地元農産物を使って一時加工し、販売するとともに、情報発信していくなどの取り組みもあるので、今後検討してみてもどうか。

→検討を進める。

- ・ No. 412 国際武道大学との連携による健康増進において、行っている内容のタグラグビーや器械体操について、他にはない事業を実施している。大人の体力測定事業についても、非常に効果がある事業と思えるので、今後も広報周知を行ってほしい。

No.311 婚活の支援 【評価結果B】

No.313 子どもを産み、育てる支援（就学から高校を卒業するまで）
（海外派遣事業・外国語指導助手）【評価結果B】

No.313 子どもを産み、育てる支援（就学から高校を卒業するまで）
（郷育プロジェクト）【評価結果B】

No.322 学校の整備 【評価結果B】

No.414 国際化の推進 【評価結果B】

No.111 新規農業者への支援及び環境整備 【評価結果D】

No.112 新規漁業者への支援及び環境整備 【評価結果B】

No.121 農林水産物の高付加価値化とブランド化 【評価結果B】

No.312 子どもを産み、育てる支援（妊娠から就学前まで）
（産後ケア等）【評価結果A】

No.312 子どもを産み、育てる支援（妊娠から就学前まで）
（乳児おむつ助成受給券・保育所における多子世帯の保育料助成）【評価結果B】

No.321 子育て支援施設の整備 【評価結果B】

個別の評価事案

No.412 国際武道大学との連携による健康増進
（バレーボール教室、器械体操、タグラグビー）【評価結果A】

No.224 住環境の整備 【評価結果 D】

No.412 国際武道大学との連携による健康増進
（健康増進活動支援）【評価結果C】

次回評価事案

No.312 子どもを産み、育てる支援（妊娠から就学前まで）
（幼稚園における多子世帯の保育料助成）

議題（３）次期総合戦略策定スケジュール等

資料７ 第２期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けて

質疑 なし